

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報										整理番号	048								
事務事業名	健康教室・健康相談事業費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input checked="" type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	04	項	01	目	05	事業	02
担当部	保健福祉部	担当課	保健推進課		担当係	健康増進係													
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 健康プランじょうそう・国民健康保険データヘルス計画)				根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 健康増進法・がん対策基本法・食育基本法) <input checked="" type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: 第3次健康いばらき21プラン・茨城県がん検診を推進し、がんと向き合うための県民診療条例・茨城県食育推進計画(第三次)・茨城県歯科保健計画) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: )													

2 事務事業の目的		①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどのようなか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。	
現状課題	・各教室及び講演会とも、定員を上回る申込数である。 ・教室の参加者から、1回の教室の人数が多いため受講しにくいとの意見がある。そのためか教室を途中で欠席してしまう方もいる。	誰・何を対象に	市民
		どのような方法・手順で	教室開催数を増加する。 ①アンケートを実施しその結果市民が興味がある②健康増進・維持することができる③医療費の減額及び重症化予防等の健康教室を開催する。
		望ましい状態	教室に参加した市民が、健康維持・増進するための知識を習得し、自ら健康で豊かな生活をおくることができるようになる。

3 事務事業の主たる成果指標		数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。									
指標名	各教室定員数に対する実申込者数	単位	%	目標値	110	目標年次	2021	年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	各教室・講演会の定員数からみる参加申し込み者数をみることにより、その事業内容を評価するための目標値とした。

4 事務事業の実績		当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																			
年度	平成28年度			平成29年度			平成30年度														
	業務名	活動量		業務名	活動量		業務名	活動量													
事務事業を構成する主な業務	① 女性のための健康教室	4回		① 女性のための健康教室	4回		① 女性のための健康教室	173人/160人													
	② 男性の体操教室	2回		② 男性の体操教室	3回		② 男性の体操教室	49人/40人													
	③ 骨粗鬆症予防教室	3回		③ 骨粗鬆症予防教室	6回		③ 骨粗鬆症予防教室	91人/80人													
	④ 健康体操教室	3回		④ 健康体操教室	3回		④ 健康体操教室	125人/120人													
	⑤ きぬ医師会委託健康教室(脂質異常症予防教室)	3回		⑤ きぬ医師会委託健康教室(動脈硬化予防教室)	3回		⑤ きぬ医師会委託健康教室(動脈硬化予防教室)	141人/120人													
	⑥ きぬ医師会委託健康教室(脳梗塞予防教室)	3回		⑥ きぬ医師会委託健康教室(脳卒中予防教室)	3回		⑥ きぬ医師会委託健康教室(脳卒中予防教室)	153人/180人													
	⑦ 骨粗鬆症予防講演会	1回		⑦ 骨粗鬆症予防講演会	1回		⑦ 骨粗鬆症予防講演会	91人/80人													
	⑧ がん予防講演会	1回		⑧ がん予防講演会	1回		⑧ がん予防講演会	91人/80人													
	⑨ 生活習慣病予防講演会	1回		⑨ 生活習慣病予防講演会	1回		⑨ 生活習慣病予防講演会	100人/80人													
	⑩ 各教室に係る業務			⑩ 各教室に係る業務			⑩ 各教室に係る業務														
	⑪			⑪			⑪														
	⑫			⑫			⑫														
目標値に対する実績値		81 %		目標値に対する実績値		92 %		目標値に対する実績値		108 %											
決算額	計	514,993 円	内訳	特定財源	464,000 円	一般財源	50,993 円	計	479,042 円	内訳	特定財源	413,000 円	一般財源	66,042 円	計	483,000 円	内訳	特定財源	446,000 円	一般財源	37,000 円
	(住民一人あたりの行政コスト)		8 円		(住民一人あたりの行政コスト)		8 円		(住民一人あたりの行政コスト)		8 円										

5 担当者評価		実施したことによる成果や問題点を記入してください。	
成果	目標未達成	成果内容	各教室・講演会とも、申込予定人数より参加希望者が多い。アンケートの結果、自分の健康について見直すことができて良かったとの声があがっている。
問題点			教室の参加人数が多いので、定員を少し減らしてほしいと市民からの意見もある。教室の回数を増やすなど受講しやすい体制にし、一人でも多く健康に関する知識を習得する機会を増やせるように検討したい。また、参加者はリピーターも多いので、新規受講生を開拓すべき取り組みも行う必要がある。

6 担当部長及び担当課長評価		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	健康プランじょうそう第2節の行動目標達成に向け、市民が生活に運動を取り入れ、習慣化できるような運動の周知や、健康に関する知識を習得する機会を提供し、市民の健康維持・増進を推進する。		

7 実施計画		今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																				
年度	令和元年度					令和2年度					令和3年度											
事業内容	●女性のための健康教室(4回) ●男性のための健康教室(2回)運動指導士@13000×2回 ●骨粗鬆症予防教室 運動教室3回・栄養調理教室1コース3回 ●健康体操教室(3回) 各教室のフォロー事業 ●きぬ医師会委託健康教室(1コース3回×2) ●骨粗鬆症予防講演会 ●がん予防講演会 ●生活習慣病予防講演会					●女性のための健康教室(4回) ●男性のための健康教室(2回) ●骨粗鬆症予防教室 運動教室3回・栄養調理教室1コース3回 ●健康体操教室(3回) 各教室のフォロー事業 ●きぬ医師会委託健康教室(1コース3回×2) ●骨粗鬆症予防講演会 ●がん予防講演会 ●生活習慣病予防講演会					●女性のための健康教室(4回) ●男性のための健康教室(4回)運動指導士@13000×4回 @26,000増 ●骨粗鬆症予防教室 運動教室3回・栄養調理教室1コース3回 ●健康体操教室(3回) 各教室のフォロー事業 ●きぬ医師会委託健康教室(1コース3回×2) ●骨粗鬆症予防講演会 ●がん予防講演会 ●生活習慣病予防講演会											
	成果指標	指標名	各教室定員数に対する実申込者数	単位	%	目標値	110	指標名	各教室定員数に対する実申込者数	単位	%	目標値	110	指標名	各教室定員数に対する実申込者数	単位	%	目標値	110			
	予算額	歳出	計	483 千円					歳出	計	477 千円					歳出	計	503 千円				
		歳入	特定財源	417 千円					歳入	特定財源	399 千円					歳入	特定財源	419 千円				
		一般財源	66 千円						一般財源	75 千円						一般財源	84 千円					
		計	483 千円						計	474 千円						計	503 千円					

8 財務アドバイザーの見解	
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。	

9 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。参加人数の増加は、健康意識の高まりを表しているのではないかと。健康寿命の増進のため、積極的に健康教室を開催すべきと考えるが、必ず医療費減額につなげることを。	

10 最終評価(行政改革推進本部)		実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。	
事務事業の方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	本事業において、市民が健康運動を取り入れたりと、健康に関する知識を習得することで、市民の健康維持・増進が図れることにより、医療費の削減にもつながる。今後については、この事業を推進していくうえで、市民のニーズ及び常総市の疾病等の状況に即した事業内容の調査・研究を行いながら、より一層の健康寿命をのばすためにも事業の拡充を行うべきである。		

11 事務事業の改善理由及び改善部分	
事業内容	男性のための健康教室を2回実施しているが、2回では運動の習慣化の定着が難しい。参加者同士も2回の教室では、名前も顔もわからずコミュニティがとりづらくなっている。運動の習慣化と男性の社会参加を目的としているのと、参加者からも、回数増加の声が上がっているため、教室回数を2回から4回に増加を希望する。